

勤務医負担軽減及び処遇改善計画 2026年度(計画)

1.勤務医の状況(2026年5月1日現在)

1	常勤医師数 124名	非常勤医師数 35 名
2	週平均勤務時間 36.1時間	(2025年度実績)
3	週平均残業時間 10.5時間	(2025年度実績)
4	平均当直回数 0.9回/月	(2025年度実績)

2.勤務医負担軽減の今後の取り組み(継続を含む)

1	医師事務作業補助者の増員及び業務内容の見直し
2	医師の採用⇒一人診療科対応。当直業務を一定程度分担してもらうことも条件に採用を進める
3	副診療部へのタスクシフト・シェアの推進と継続
4	救急救命士の法改正に基づいた業務拡大
5	休憩時間の確保、当直翌日の業務に対する配慮、勤務間インターバルの確保【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】
6	長時間労働医師への面談(100時間以上となる前に面接指導医からの面接指導)
7	厚労省トップマネジメント研修、管理者マネジメント研修を対象医師に受講してもらう
8	特定行為研修修了看護師の増員・バスキュラナース育成

3.処遇改善計画

1	医師の働き方改革に向けて本部と共同での推進、申請
2	医師の適切なシフト管理
3	出退勤システムの定着化。時間外・自己研鑽の申請方法の周知徹底
4	適切な定期昇格、手当等の見直し
5	職場環境の改善

4.今年度の目標と評価

	項目	現状	目標
1	医師事務作業補助者の増員	22名	3名増員
2	医師事務作業補助者の業務と範囲との見直し	文書に関しては緊急対応以外はほぼ100%下書きを行っている。外来診療の補助及びオーダー代行入力、入院診療の回診時代行入力及び管理料算定に伴うカルテ入力を行っている。その他、維持透析オーダーの代行入力、循環器内科・外科・乳腺外科・心臓血管外科・脳神経外科・呼吸器外科・形成外科・麻酔科のデータベース入力を行っている。	各種文書の下書き作成にAIを活用することにより文書作成時間の短縮と、AI電話導入により電話対応業務の効率化を図る。
3	医師の採用	当院OB、人材派遣業者への定期的なヒアリング	救急科、総合診療部、腎臓内科の採用
4	特定行為研修修了看護師の育成	11名現場配置 令和8年6月から5名研修開始	3名研修修了・新規3名現場配置 および、2名特定行為分野の増加
5	医師の1ヶ月単位の勤務表作成	1ヶ月単位勤務予定表作成中 50%進捗	週休を考慮した月単位を作成
6	紹介受診重点医療機関の維持	2026/3末現在の紹介率83.9%、逆紹介率52.2%	紹介率50%以上、逆紹介率40%以上を維持する

5.現行の取り組み

1	各診療科支援(役割分担)	NP診療支援、病棟・ER・手術室へ薬剤師配置、NSTによる栄養サポート、呼吸ケアチーム、ICTチーム、ASTチーム、褥瘡対策チーム、認知症ケアチーム 入退院支援、副診療部・事務部の24時間バックアップ体制、精神科コンサルト整備
2	各種手当の見直し	給与改定時に手当の見直
3	メンタルケア	健康保険組合ホットライン設置、臨床心理士による相談日の設置
4	予定手術日前の勤務配慮	勤務シフトの調整
5	連続当直を行わない体制	勤務計画作成時に連続当直とならないよう調整
6	医師の働き方ワーキンググループ(毎月開催)	随時時間外等の状況や対象医師への面接指導実施状況を確認